【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第６部門第２区分
【発行日】平成21年12月3日(2009.12.3)

【公表番号】特表2009-511967(P2009-511967A)
【公表日】平成21年3月19日(2009.3.19)
【年通号数】公開・登録公報2009-011
【出願番号】特願2008-534922(P2008-534922)
【国際特許分類】
Ｇ０２Ｆ　1/1333　(2006.01)
Ｇ０９Ｇ　3/20　(2006.01)
Ｇ０９Ｇ　3/34　(2006.01)
Ｇ０９Ｇ　3/36　(2006.01)
Ｇ０２Ｆ　1/13357　(2006.01)
Ｇ０２Ｆ　1/133　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｇ０２Ｆ　1/1333
Ｇ０９Ｇ　3/20　６７０Ｌ
Ｇ０９Ｇ　3/20　６７０Ｚ
Ｇ０９Ｇ　3/34　Ｊ
Ｇ０９Ｇ　3/20　６２１Ｆ
Ｇ０９Ｇ　3/36
Ｇ０２Ｆ　1/13357
Ｇ０２Ｆ　1/133　５８０

【手続補正書】
【提出日】平成21年10月8日(2009.10.8)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
直視型ディスプレイアセンブリであって、
光源と、
液晶ディスプレイパネルと、
前記光源によって生成された熱から前記液晶ディスプレイパネルを断熱するための手段と、
前記光源によって生成された光を前記断熱するための手段の第１の側部から前記断熱するための手段の第２の側部に搬送するための手段と、
前記断熱するための手段の前記第２の側部において、前記搬送された光を前記液晶ディスプレイパネルを通じて方向付けるための手段とを含み、前記液晶ディスプレイパネルは前記第２の側部に位置し、前記直視型ディスプレイアセンブリはさらに、
前記断熱するための手段の低温側から前記断熱するための手段の高温側に熱エネルギを能動的に搬送するための手段を含む、直視型ディスプレイアセンブリ。
【請求項２】
ヒートシンクをさらに含み、
前記光源が前記ヒートシンクに熱的に結合されており、
熱エネルギを能動的に搬送するための前記手段は、熱を前記液晶ディスプレイパネルか

ら前記ヒートシンクに面する前記断熱するための手段の側部に能動的に伝達するよう配置された能動的な冷却装置を含む、請求項１に記載の直視型ディスプレイアセンブリ。
【請求項３】
前記断熱するための手段は、前記液晶ディスプレイパネルに対して実質的に平行に配置された実質的に平面の層を含む、請求項２に記載の直視型ディスプレイアセンブリ。
【請求項４】
前記アセンブリは、前記ヒートシンクとは反対向きにある前記断熱するための手段の側部上の伝熱媒体を循環させるよう配置された少なくとも１つのファン、または、前記液晶ディスプレイパネルに面する前記断熱するための手段の側部に位置するヒータを含む、請求項２または３に記載の直視型ディスプレイアセンブリ。
【請求項５】
前記断熱するための手段は、前記ディスプレイアセンブリの周囲環境から前記液晶ディスプレイパネルを断熱するよう構成される、請求項２から４のいずれかに記載の直視型ディスプレイアセンブリ。
【請求項６】
前記断熱するための手段は、前記液晶ディスプレイパネルの少なくとも前面および後面にわたって延在する、請求項２から５のいずれかに記載の直視型ディスプレイアセンブリ。
【請求項７】
前記断熱するための手段が熱障壁として実現され、
前記ヒートシンクが前記熱障壁の第１の側部に位置し、
前記液晶ディスプレイパネルが前記熱障壁のうち前記第１の側部とは反対側の第２の側部に位置する、請求項２から６のいずれかに記載の直視型ディスプレイアセンブリ。
【請求項８】
請求項１から７のいずれかに記載の直視型ディスプレイアセンブリであって、断熱するための手段は熱障壁を含み、光源が前記熱障壁の第１の側部に位置し、液晶ディスプレイパネルが、（Ａ）前記熱障壁うち前記第１の側部とは反対側の第２の側部に位置し、（Ｂ）前記光源によって生成される光を透過するよう配置され、前記直視型ディスプレイアセンブリは、
前記光を前記光源から前記液晶ディスプレイパネルに結合するための前記熱障壁における１つ以上の穴と、
前記熱障壁の前記第２の側部に位置するヒータとを含む、直視型ディスプレイアセンブリ。
【請求項９】
前記ヒータは、前記アセンブリの周囲環境の温度に対して前記液晶ディスプレイパネルの温度を上げるよう配置される、請求項８に記載の直視型ディスプレイアセンブリ。
【請求項１０】
前記ヒータは、前記液晶ディスプレイパネルと前記熱障壁との間に配置されるか、または、前記液晶ディスプレイパネルを含む光学スタックにおける層を含む、請求項８または９に記載の直視型ディスプレイアセンブリ。
【請求項１１】
前記光源は少なくとも１つの発光ダイオードを含み、
前記アセンブリは、前記液晶ディスプレイパネルのフレームレートの１／ｎ倍の変調周波数で前記発光ダイオードの光出力を変調させるよう構成された制御回路を含み、ここで、ｎは０よりも大きな整数である、請求項１から１０のいずれかに記載の直視型ディスプレイアセンブリ。
【請求項１２】
前記アセンブリは少なくとも１つの光源を含み、
前記少なくとも１つの光源は、第１の波長の範囲内でその光出力のほとんどを放出するよう構成された第１のダイオードと、前記第１の範囲とは別個である第２の波長の範囲内

でその光出力のほとんどを放出するよう構成された第２のダイオードとを含み、
前記制御回路は、前記変調周波数の複数の連続サイクルの各々の間中に連続的に前記第１および第２のダイオードを作動させるよう構成される、請求項１１に記載の直視型ディスプレイアセンブリ。
【請求項１３】
前記断熱するための手段はチャンバであり、前記光源が前記チャンバの外側に配置されており、光を搬送するための前記手段は、光を前記光源から前記チャンバに伝え、前記パネルの後面に前記光を分散させるよう構成された光ガイドである、請求項１に記載の直視型ディスプレイアセンブリ。
【請求項１４】
直視型ディスプレイアセンブリであって、
光源と、
液晶ディスプレイパネルと、
前記光源によって生成された熱から前記液晶ディスプレイパネルを断熱するための手段と、
前記液晶ディスプレイパネルに面する前記断熱するための手段の側部に位置するヒータとを含む、直視型ディスプレイアセンブリ。